

# ありかどとう

清音小学校だより



No.15  
令和8年1月19日  
校長 藤本千登世

## よい年になりますように

1月7日より3学期が始まりました。今年は、草原を颯爽と駆け抜ける午の年。午年は前進・跳躍の年と言われています。特に2026年は「丙午(ひのえうま)」と呼ばれ、エネルギーが高まる年とされています。子ども達が3学期も夢や目標に向かって努力を続け、成長することを願っています。そして、「子どもは教師の鏡」ですから、教職員も夢や目標に向かい挑戦する姿や努力する姿を見せていきたいと思っています。3学期もご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。



**3学期も「Let's try! 清音! 笑顔とありがとうあふれる学校」に!**

## 「ごみ拾いは ○○拾い」～朝礼の話より～



(アメリカメジャーリーグのドジャースの大谷翔平選手がグラウンドのごみ拾いをしている写真を見せ、説明した後の話)

問題です。大谷選手は高校生の時、野球部の監督から「ゴミ拾いは、○○拾い」と教わりました。○○には、何という言葉が入るのでしょうか。正解は「運」です。だから、大谷選手は「ゴミを拾うことは、人が捨てた運を拾うこと、よい運をもらうことになる」と言っています。そして、野球場だけでなく、学校や自分の生活している場所などで、人が見ていようがなかろうが、当たり前のように落ちているごみをずっと拾い続けています。一昨年、スペインの新聞には「**大谷翔平、ゴミ拾いで日本人の礼儀を示す**」と書かれていました。大谷選手は、「運拾い」と思い、挨拶や言葉遣い、掃除、ゴミ拾いなども当たり前のようにずっと続けていたそうです。どれも「礼儀」ですね。大谷選手は、野球の実力だけでなく、礼儀や思いやり、感謝なども大切にしている、すばらしい人間性の持ち主なのです。

**「礼儀」とは、相手を大切にする気持ちが現れたのですが、みなさん、やさしさや思いやりの気持ちをもって、①挨拶 ②名前の呼び方 ③言葉遣い ④ゴミ拾いや後片付けができるでいるでしょうか?**大谷選手のように、礼儀正しく、「よい運をもらうこと」を頑張っていきましょう。

## 災害に備えた準備や家族での話し合いを!



防災リュックを見せて

1月16日、地震を想定した、予告なしの避難訓練がありました。訓練後、総社市が作成した動画を全クラスで視聴し、防災の意識を高めました。

(校長の話の一部)これは9月に全員がもらっている「親子のための防災手帳」です。総社市がみなさん一人一人の命を守るために配ってくれたものです。これは校長先生が準備している防災バッグですが、皆さんのおうちでは準備していますか?まだの人は、この防災手帳にも準備しておくと良い物が書かれていますので、それを見ながらおうちの方と準備しておくといいですね。今日、家に帰ったら、もう一度中を見て、家族と一緒に「もし地震が起きたらどうするか」を話してみてください。

それから、1月25日の午後から、清音地区で「避難所開設訓練」が行われます。地域の人たちもみんなで協力して、災害に備える訓練です。清音小学校が避難所になります。こうして学校も地域も力を合わせることが、皆さんの命を守ることにつながります。その訓練には校長先生もいますよ。おうちの人とぜひ参加してみてください。

今日の訓練はドキッとしたと思いますが、真剣さ100点で大変立派でした。今日の訓練を忘れず、これからも「自分で考えて行動する」ことを大切にしていきましょう。



真剣に視聴する児童